

# あいちの印刷

# 9

2008.9  
No.442



関市百年公園

も  
く  
じ

|   |    |
|---|----|
| 巻頭言 「教育・労務委員会」<br>/ 教育・労務委員長 岡田邦義 .....             | 3  |
| 特集グリーンプリンティング .....                                 | 4  |
| 9月は「印刷の月」 .....                                     | 9  |
| 「労働保険適用促進月間」 .....                                  | 9  |
| PRIMEDEX TOKYO 2008 .....                           | 10 |
| 身近な催し物のお知らせ .....                                   | 11 |
| 「業態変革推進プラン」～<br>「業態変革実践プラン」へ .....                  | 12 |
| 展示会案内 / 豪雨・水害被害にお見舞<br>申し上げます / 本社移転 / 事務局だより ..... | 12 |

## 巻頭言

# 「教育・労務委員会」

教育・労務委員長 岡田 邦義

新しい年度が始まりはや5か月が過ぎようとしております。近年、他団体を含め当組合でも組合離れが進み、組合員数の減少が進んでおります。組合に魅力がない、参加していてもメリットがない、組合に入っても行事に参加できない等々、色々な意見があります。私も始めはそうでした。

経済の先行きが不透明、特に印刷関連業界では、デジタル化を中心とした技術革新に伴う設備コスト増、更には他業種からの参入、激しい受注競争など、厳しい環境下に置かれた中小企業の経営をどうしたら打破できるのか。メーカー主催のセミナー、仕入れ業者からの情報、他業種からの情報など様々な角度から考察しておられると思います。しかし、身近な地域の業界情報、また同規模で生かせる業界情報や自分たちの知りたい情報等々は業界で積極的な意見交換ができる組合組織がなければ、組合組織自体のメリットは生まれてこないと思います。教育・労務委員会では各支部・各地域からの意見を反映できるよう各支部から多くのメンバーにご参加いただき、組合員の皆さんが知りたい情報、参加したい事業を行っていきたくと考えております。

委員会では、理事長スローガンの「売り上げ

対経常利益率5%を目指す」をもとに、委員会として活発な活動・魅力ある活動を行ってまいります。すでに印刷技能検定会場認定工場制度・印刷技能検定実技試験・印刷技能検定学科試験対策学習会を行いました。また今後、「各種セミナー」を開催しますので、多くの皆さんのご参加をお願い致します。そして、6月号の「あいちの印刷」の理事長の言葉に『魅力ある組合、その魅力を経営に取り込み、活かすことができる「場」と「情報」の提供』とあります。情報誌での新鮮で広範な情報発信、各委員会等の勉強会や、次代を担う若い人達のための印刷寺子屋など様々な企画、更に、当委員会では、毎月委員会を開催しており、委員会メンバーより近況報告と言う形でいろいろな情報を発表していただいております。この中で、個人・家族での出来事、業界・他業界での出来事、会社での出来事など様々な意見がございます。尾張、西三河、東三河での受注状況、海外・国内印刷機材展でのメンバーから見た印刷機材状況・これからの印刷業の方向など、業界内での情報交換ができるのも委員会に参加いただくメリットの一つではないかと思っております。是非、組合活動にとどまらず、委員会活動へのご参加もお願い致します。

## 新会社は6月1日からスタートしました。

大河内紙業株式会社と林紙産業株式会社は、この程合併し、「株式会社 アクアス」となりました。合併により、さらに皆様方のお役に立てる紙の総合商社として邁進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

紙をクリエイトする  
**Axuas**  
株式会社 アクアス

本社／〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

紙営業部 TEL. (052) 220-5511 IP電話 (050) 3533-5511 FAX. (052) 220-5522 小牧物流センター／〒465-0051 小牧市下小針中島1-78 TEL. (0568) 41-5581  
包材営業部 TEL. (052) 220-5507 IP電話 (050) 3533-5612 FAX. (052) 220-5517 豊山配送センター／〒465-0051 西春日井郡豊山町豊場字幸田111 TEL. (0568) 28-2331  
管理本部 TEL. (052) 220-5571 FAX. (052) 220-5565 U. R. L <http://www.axuas.jp> : E-mail: [info@axuas.jp](mailto:info@axuas.jp)



## グリーンプリンティング (GPマーク) 環境に配慮した印刷の総合認定制度 取得のメリットを武器に営業展開



### 愛印工組・環境委員会 GP認定取得説明会を開催

8月8日午後7時より、愛知県印刷会館3階・会議室において、環境委員会の主催で「グリーンプリンティング (GP) 認定取得説明会」が開かれました。講師は㈱丸和印刷の大井康司CSR推進室長が務め、12名がGP認証の取得に関する説明を拝聴しました。

説明に先立ち、挨拶に立った細井俊男副理事長 (環境委員長) が次のように述べました。

「本年度の環境委員会の第1回目の事業を開催させていただき運びとなりました。今回はグリーンプリンティング認定制度についての説明を聞いていただきます。グリーンプリンティングは日印産連が認定する制度で、印刷に特化した環境関連制度として広く認知されています。全印工連も積極的な取得を推奨しています。取得に要する価格も割と手頃で、印刷物にもマークを表記できるので、ISO14001よりも効果があるとの位置付けで、業界内で啓蒙が進められています。厳しい環境の中、環境対応だけでなく、差別化を図る手段・武器になると思いますので、ぜひ取得に向けて行動を開始していただきたいと思います」

このあと、説明会に入り、㈱丸和印刷の大井CSR推進室長が日印産連のGP認定制度を解説しました。

## グリーン基準とGP認定制度の概要

環境問題に対する社会的要求が高まるとともに、印刷産業に対しても、環境に配慮した製品づくりが求められております。そこで、日印産連では、印刷産業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」を制定しました。また、この基準に示された各項目を達成した工場・事業所を認定、環境経営に積極的な印刷関連企業を推奨するとともに、同基準に適合した印刷製品にGPマークを表示することにより、環境に配慮した印刷製品が広く普及することを目的とした「GP認定制度」を運用しています。

日印産連「印刷サービスグリーン基準」とはこの基準は、オフセット、シール、グラビア、スクリーン印刷の4種類があり、オフセット印刷サービスグリーン基準は2001年8月に制定 (2006年3月

改定)、他の3種類は2003年3月に制定 (2007年4月改定) しました。基準の構成は、印刷製品を構成する用紙、インキ、接着剤など工場が購入する「購入資材」と、営業・企画から製版、印刷、加工、デリバリー等工場の「工程」、更に全体的な「事業者の取り組み」に分かれており、それぞれ取り組むべき内容が具体的に設定されています。

GP認定制度とは  
同認定制度は、日印産連「印刷サービスグリーン基準」(オフセット印刷、シール印刷、グラビア印刷、スクリーン印刷の4種) に基づき、客観的証明により認定を行う制度です。この制度は工場・事業所が認定を受ける「工場認定制度」と、認定工場が印刷した製品に認定マーク「GPマーク」を表示で

ISO14001とGPとの比較

|           | ISO14001                      | GP                     |
|-----------|-------------------------------|------------------------|
| 認定機関      | 国際標準化機構連合会                    | 日本印刷産業連合会              |
| 目的        | 環境保全                          | 環境保全                   |
| 対象業種      | 業種を問わず                        | 印刷業                    |
| 基準        | ISO規格と自社環境マネジメントシステム(EMS)     | 日印産連「印刷サービス」グリーン基準     |
| 評価対象      | ISO規格との整合性とEMS運用状況            | 基準評価表で定められた項目の達成度      |
| 維持審査      | 有り(年一回)                       | 無し                     |
| 有効期間内の維持費 | 3年間 184万円~288万円<br>*従業員70人の場合 | 3年間 27万円<br>*従業員70人の場合 |

きる「製品認定制度」の2種類で成り立っています (製品認定制度は、現在、オフセット印刷部門のみ)。

GP工場認定制度とは

(1)認定までの流れ

申請工場は「GP認定評価表兼チェックシート」により自己評価した上で申請します。

該当工程の基準の70%以上を達成 (一部必須項目あり) する必要があります。

申請時には、申請書、チェックシート、証拠となる添付書類が必要になります。

認定審査には、申請書審査と現地審査の二つがあり、認定審査員が行います。この結果を認定委員会が客観的に判断し、認定を行います。

認定工場には認定証等が授与され、固有の番号が付与されます。

認定有効期間は3年間です。継続する場合、3年ごとに更新審査を受けます。

(2)認定のための運営組織

この制度の運営組織は、日印産連のもとに設置されたGP認定事務局から審査を委託される認定審査員、第三者 (学識経験者、マスコミ、環境団体、クライアント業界等) からなる認定委員会で構成されています。

GP工場認定制度(認定申請、審査、登録にかかる費用一覧)

| 従業員規模    | 会員企業   |         |        |         |
|----------|--------|---------|--------|---------|
|          | 認定申請料  | 審査料     | 認定登録料  | 合計      |
| 9人以下     | 20,000 | 40,000  | 20,000 | 80,000  |
| 10~19人   | 20,000 | 80,000  | 20,000 | 120,000 |
| 20~29人   | 20,000 | 130,000 | 20,000 | 170,000 |
| 30~49人   | 20,000 | 180,000 | 20,000 | 220,000 |
| 50~99人   | 20,000 | 230,000 | 20,000 | 270,000 |
| 100~149人 | 20,000 | 280,000 | 20,000 | 320,000 |
| 150~199人 | 20,000 | 330,000 | 20,000 | 370,000 |
| 200~249人 | 20,000 | 380,000 | 20,000 | 420,000 |
| 250~299人 | 20,000 | 430,000 | 20,000 | 470,000 |
| 300人以上   | 20,000 | 480,000 | 20,000 | 520,000 |

ISO14001における認証取得に係る費用

| 従業員数          | 単独    | 2社    | 3社    | 4~6社  | 7~8社  | 9~10社 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ISO14001 (環境) | 225万円 | 170万円 | 150万円 | 130万円 | 110万円 | 90万円  |

(3)工場認定制度の特徴

グリーン基準をもとにした認定基準が事前に公表されています。

この認定は、各工程、事業所全体の取り組みなど、印刷の環境配慮に関し、総合的観点から認定を行うものです。

認定は、第三者からなる認定委員会によって公平・公正に行われます。また、透明性を確保するため、認定基準もホームページ等で公開されています。

認定を受けた工場は、その証であるGPマークを会社案内等に表示することができます。また、認定工場のみがグリーン基準に適合した「印刷製品」にGPマークを表記することができます。

GP認定工場は日印産連のホームページ等で公開しています。

GP製品認定制度とは

(1)GP製品認定制度の仕組み

GP認定工場が製造し、かつ印刷製品を構成する資材がグリーン基準の「購入資材」の各項目の基準に適合している場合、GPマークを表示することができます。

印刷製品の製造に関わる全工程をGP認定工場が行っていることを原則とします。但し、GP認定

**SCREEN MEDIA TECHNOLOGY** **ここが違います。大日本スクリーンの CTP Workflow**

1 PDF1.4対応をはじめとする最新の  
コアテクノロジーでCTPをサポートする  
インテリジェントRIP

ネットワークプロダクション対応  
インテリジェントRIP  
**Trueflow**

2 目的別に選択できるPlateRiteシリーズ

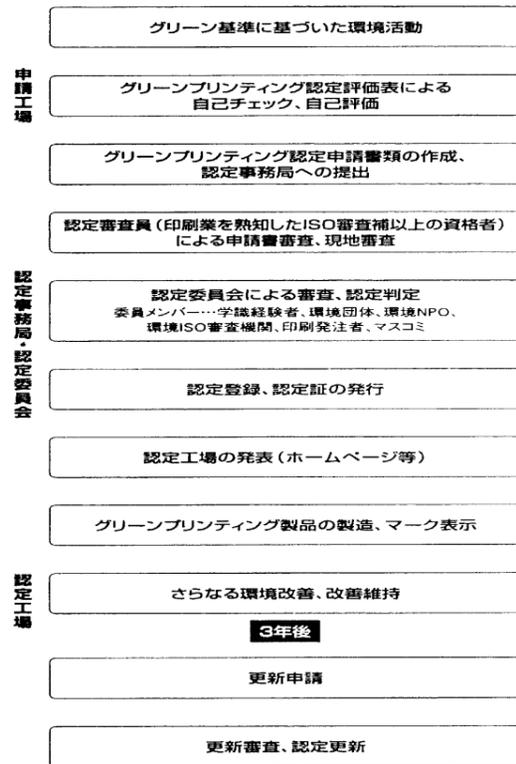
四六半裁判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite4300**

四六全判対応  
サーマルプレートレコーダー  
**PlateRite8600**

**株式会社 メディアテクノロジー ジャパン**

本 店 / 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル <http://www.mtjn.co.jp/>  
名古屋支店 / 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル 052(218)6400

**大日本スクリーン製造株式会社**  
メディアテクノロジー カンパニー <http://www.screen.co.jp/>  
〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目



が必要になります。

GPマークの表示を行おうとするGP認定工場は、前記基準に適合した印刷物にGPマークを表示することになります。

GPマークの表示を行ったGP認定工場は、GPマークを表示した製品名、構成資材等の記録を保管し、表示件数等を日印産連GP認定事務局に報告することとなります。

GPマークの使用料は無料です。  
(2)GP認定制度の特徴

工場の普及数を考慮し、当面3年の間(平成21年9月30日まで)は、印刷工程を行う工場がGP認定を受けていれば、GPマークを表示することができます。  
印刷製品を構成する資材については、紙、インキ、加工材料等すべての資材がグリーン基準「購入資材」の各項目の水準-2以上に適合していること

GPマークは、印刷製品を構成する資材すべてと製造工程が環境に配慮していることを宣言した総合的環境配慮マークです。

第三者からなる認定委員会によって認定されたGP認定工場がGP製品認定制度に基づきGPマークを表示することによって、その内容は担保されています。

製造を行ったGP認定工場の認定番号をGPマークに表示することにより、信頼あるマークとして社会的要請に充分に応えられる制度になっています。

GPマークを表示するための基準は、すべて公開されており、

GPマークの使用料を無料としたことで、印刷発注者の経済的負担が軽減されるとともに、印刷発注者は印刷製品に対する環境配慮を広くアピールすることができます。

GPマークの表示により、環境に配慮した「印刷工場・事業所」「印刷製品」の判別が容易になり、社会の環境保全が一層促進されます。

## GPマーク表示印刷物の増加と120の認定工場

GPマークの表示印刷製品が急増  
(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)では、GP認定工場の報告の結果から、印刷製品へのGPマーク表示実績をまとめました。GPマーク表示は、平成18年10月にスタートした制度ですが、その報告によると、平成19年4月～平成19年9月の6か月間で、GPマーク表示印刷製品は420件、GPマーク表示の印刷部数は1,525万部となり、前期(平成18年9月～平成19年3月)と比較すると、印刷部数で8倍以上となっています。GPマークが急速に普及し始めていることがわかります。そして、平成20年3月時点で、GPマークを表示した印刷製品は3,100万部を越え、社会的に認知される段階に近づきつつあります。

グリーンプリンティング認定工場  
前記しましたごとく、グリーンプリンティング認定制度は、日印産連グリーン基準(工程及び事業者の取り組み)を達成した工場に対し客観的評価を行うもので、認定された工場は環境優良工場としてクライアントなど社会に対し、幅広くPRすることができます。環境優良工場としてのお墨付きを得ることができるだけに、応募工場も増えてきています。先月の20日に「グリーンプリンティング認定工場」第9期認定受付が終了しました。現在までにどのくらいの認定工場が誕生しているかといいますと、平成20年3月からシール印刷、グラビア印刷、スクリーン印刷の認定が始まりました。第8回の認定では、

### グリーンプリンティング認定工場は、グリーン基準を達成した工場です

各工程におけるグリーン基準  
【営業・企画・デザイン工程】  
<ポイント>  
企画制作の環境配慮基準がある/環境基準に該当する製品を提案/デジタルによる印刷見本出力/デザインのデジタル化 etc  
【製版(プリプレス)工程】  
<ポイント>  
入稿原稿のデジタル化(省資源)/製版・刷版工程のデジ

タル化(フィルムレス)/製版廃液のリサイクル(銀回収)/校正のデジタル化/印刷版の100%リサイクル etc  
【印刷(プレス)工程】  
<ポイント>  
オフ輪印刷のVOC排出処理装置設置/湿水のVOC発生抑制(水なし印刷、IPAレス化など)/洗浄剤、各種溶剤からのVOC発生抑制/印刷機などの環境負荷低減、省エネ活動、騒音・振動発生抑制/損紙、排インキ缶などのリサイクル率80%以上/ウエスなどの再利用、再生品の使用 etc

【表面加工工程】  
<ポイント>  
塩素系樹脂を使わない/光沢加工資材の無溶剤化  
光沢加工機の環境負荷低減/損紙などのリサイクル率80%以上/使用形態にあった表面加工方法選択 etc  
【製本加工工程】  
<ポイント>  
製本機の環境負荷低減/製本機からの騒音・振動発生抑制/断裁クズなどの古紙へのリサイクル etc  
【デリバリー工程】  
<ポイント>

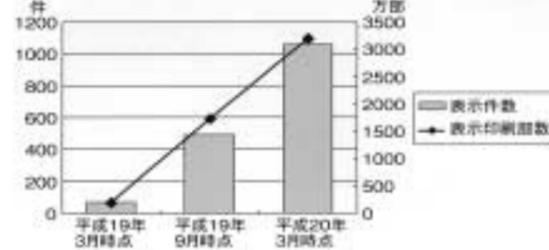
通い箱、共通パレットなどの利用/再生包装資材の使用/包装資材のリサイクル/フォークリフトなどからの騒音発生抑制/アイドリングストップの実施  
低公害車の導入 etc  
【事業者全体としての取り組み】  
<ポイント>  
環境関連法規の遵守チェック/環境負荷低減の目標・改善活動/環境保全活動継続のための仕組み  
グリーン製品の開発・製造/環境情報の公開/環境資材の購入システムの構築 etc



GPマーク製品表示状況(オフセット印刷部門)

| 集計期間  | 対象工場数 |     | 表示工場数   |       | 表示件数    |       | 認定番号非表示件数 |            | 印刷部数       |           |  |
|-------|-------|-----|---------|-------|---------|-------|-----------|------------|------------|-----------|--|
|       | (A)   | (B) | 比率(B/A) | 件数(C) | 平均(C/B) | 件数(D) | 比率(D/C)   | 部数(E)      | 1工場平均(E/B) | 1件平均(E/C) |  |
| H18下期 | 44    | 15  | 34.1%   | 72    | 4.8     | 5     | 6.9%      | 1,808,650  | 120,577    | 25,120    |  |
| H19上期 | 64    | 29  | 45.3%   | 420   | 14.5    | 34    | 8.1%      | 15,252,300 | 525,941    | 36,315    |  |
| H19下期 | 91    | 35  | 38.5%   | 564   | 16.1    | 34    | 6.0%      | 14,728,109 | 420,803    | 26,114    |  |
| 累計    | 91    | 30  | 33.0%   | 1,056 | 35.2    | 73    | 6.9%      | 31,789,059 | 1,059,635  | 30,103    |  |

GPマーク(印刷製品への表示)実績



グラビア印刷部門2工場が認定されましたので、第1回から通算しますと、GP認定工場は120工場になっています。ちなみに、第10期認定募集は10月に開始されます。

「オフセット印刷サービス」  
グリーン基準の改定

印刷業界あげて循環型経済社会の構築に向け、印刷産業の自主的基準としてオフセット印刷サービスのグリーン基準が、平成13年8月に制定されました。以後4年が経過し社会の環境問題に対する認識の高まり、印刷産業界においても環境問題への取り組みが進んでいることから、こうした実情を踏まえ、グリーン基準の内容が見直され、平成18年3月に改訂が行われています。

基準の構成は、オフセット印刷サービスを行うための、「購入資材」、「工程」、「事業者の取り組み」に関するグリーン基準と、グリーン原則の具体的な基準としてのグリーン基準で構成されています。

(「オフセット印刷サービス」グリーン基準改訂版の内容は、ガイドラインをご覧ください)。

積極的な取得が望まれる

GPは、印刷会社の環境配慮の取り組みを総合的に評価する制度です。GPの審査は、「資材」、「工程」、「事業者の取り組み」などについて、結果重視で行われます。申請準備段階から総合的に改善に取り組めるもので、結果的に大きな効果が得られるのが特徴です。

例えば、不要時の消灯やエアコンフィルターの清掃、室内温度のこまめな設定などは、省エネとわかっていてもなかなか徹底できません。これらをGPの取り組み項目として掲げ、全社一丸で取り組めば、ムダを排除する推進活動が行えます。小さなことのようにも明らかに意識が変わります。また、VOC削減の取り組みや損紙の削減についても同様です。一つ一つの行動が色々な改善に結びついていきます。

更に、GP認定後は、戦略的に営業活動を行うことで、新規の仕事を獲得する可能性もでてきます。何よりも、GP取得という目標に向かって全社員一丸となって対応することは、大きなメリットが生まれるといえます。いずれにしても、環境に配慮した印刷総合認定制度への取り組みは、印刷会社の必須課題といえます。是非、挑戦してみてください。

9月は「印刷の月」  
情報価値創造産業へ更なる発展を!

9月を「印刷の月」と定めた(社)日本印刷産業連合会(山口政廣会長)では、9月17日東京千代田区紀尾井町のホテルニューオータニにおいて「2008年印刷の月記念講演、記念式典、懇親会」を開催する。

記念式典では、日印産連表彰、印刷産業環境優良工場表彰、公募ポスター表彰などを行う。

「印刷の月」は、全日本印刷工業組合連合会が1977年から我が国活版印刷の先覚者本木昌造翁を偲び、その命日である9月3日を含む9月1日から7日までを「印刷週間」としたのが始まり。印刷人としての意識の高揚と社会の印刷物に対する価値の認識を高め、世界的技術の最先端を歩む近代産業としての発展を期した。その後、1985年に設立された日印産連が86年から「印刷週間」開催期間を1か月に拡大し、毎年9月を「印刷月間」とし、9月1日を「印刷の日」とした。期間中には、日印産連や会員団体の行事を集中的に展開することにより、会員10団体の総力を結集して、一般社会の印刷産業への認識を深め、理解の促進を図ってきた。2000年からは「印刷月間」の名称を、一般の人々により親しみやすく理解がえられるようにと「印刷の月」に変更している。



今回の「印刷の月」ポスターデザインは、一般部門44点、学生部門8点の計52点の応募があり、最優秀賞には、木下修、矢崎いづみ、山口賢一、吉田淳(凸版印刷株)の4氏による作品が選ばれた。

「労働保険適用促進月間」

一人でも雇用したら  
「労働保険」に加入を!

厚生労働省では、毎年10月を「労働保険適用促進月間」と定め、労働保険の未手続き事業所の解消を図るため、労働保険制度の周知及び労働保険の適用促進を呼びかけている。

加入手続きのご相談は、  
愛知労働局労働保険適用課 TEL052-219-5503  
または、最寄の労働基準監督所・公共職業安定所にお尋ねください。

厚生労働省では、10月1日から10月31日までを「労働保険適用促進月間」と定めています。

一人でも雇ったら、必ず入るもの。それは「労働保険」です。  
労働保険は労災保険と雇用保険とを総称した名称です。労働者を雇用する事業所は農林水産業の一部を除きすべて加入しなければなりません。  
事業主の皆さん、労働者を一人でも雇用したら速やかに加入手続きをしてください。

いま動き出すプロ用 Windows DTP  
**PROX ELWIN**  
プロックス エルウィン

- WindowsNT の採用により取り組み易い操作環境を提供
- 多様な展開が図れ、PDF ファイルへの変換が可能
- PS フォントと TrueType フォントの高解像度出力を実現
- 当社製 PS RIP「ExpressRIP-M」との接続に加えて、多様な他社 RIP への接続対応を順次実施

**株式会社 モトヤ**  
〒461-0035 名古屋市東区黒門町128  
☎(052)935-5315 代 FAX(052)935-5338

**OLIVER496SD** 菊全判4色印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

**オールインワン**  
最新自動化設備 完全装備

最高の製品をお届けすることで、お客様の満足をお約束します

**Sakurai**  
株式会社 桜井グラフィックシステムズ  
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社  
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9  
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

名古屋営業所  
〒451-0084 名古屋市中区上郷町2-9-1  
TEL.(052)524-5541(代) FAX.(052)524-5545

大阪営業所  
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31  
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所  
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8  
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場  
〒501-3733 岐阜県美濃市3951  
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



## 「業態変革推進プラン」～「業態変革実践プラン」へ

### 2008年全日本印刷文化展in鹿児島で提案

「時代(とき)を刷り、篤き未来を創る - 心を文字に、想いを色に - 」をキャッチフレーズに、全日本印刷工業組合連合会、九州地区印刷協議会、鹿児島県印刷工業組合主催により、「2008年全日本印刷文化展in鹿児島」が、10月17日(金)、18日(土)の2日間、鹿児島市内の城山観光ホテルにおいて開催されます。

会期中、記念式典、シンポジウム、記念講演会、セミナーなどが実施されます。

今回の全国大会は、これまで取り組んできた「業態変革推進プラン全印工連2008計画」から「業態変革実践プラン2010計画」にステップアップするための重要な大会と位置付けられており、新たなメンバーで構成された業態変革推進企画室から「ワンストップサービスによる収益拡大」が提案されます。

スケジュールは、17日に全印工連水上光啓会長の基調講演「実践業態変革：ワンストップサービスで収益拡大へ」が行われ、翌18日には、業態変革実践フォーラム「業態変革実践プラン - 全印工連2010計画について」、「業態変革の実践事例パネルディスカッション」が企画されています。

マークは「2008全日本印刷文化展in鹿児島」のシンボルマーク



2008  
全日本印刷文化典  
in 鹿児島

## 本社移転

・(株)サクラ印刷 / 本社移転  
(株)サクラ印刷(野々村昌彦社長)では、9月1日をもって下記住所に移転した。

移転先 = 〒457-0071 名古屋市南区千電通6-35、TEL052-822-4488、FAX052-822-5592

## 事務局だより

名古屋の暑い夏もここにきてやっと涼しさが漂ってきました。盆休み中は、どこかに出掛けることもなく、一日中居間に陣取り、夏の高校野球と中国でのオリンピック観賞で結構忙しい毎日でした。ただ、冷房の効いた部屋で、ビールを飲みながらガラガラと過ごしたものですから、盆あけにはその反動で体調がおかしかったのはいうまでもありません。「自業自得だ」と内の婆さんに冷やかされ通してました。

グリーンプリンティングへの認識が高まってきております。今回、特集として、グリーンプリンティングの内容を紹介してみました。本誌でも機会があるごとに取り上げてきましたので、ご存知の方も多々あるかと思いますが、制度発足以来、120社ほどの認定しかありません。環境に配慮した印刷総合認定制度ですので、是非取得をしていただき、取得のメリットを活用していただきたいと思います。

9月に入りますと催し事が続きます。「あいちの印刷」誌面も更に賑やかになるかと思えます。これからも新鮮なニュースをお届けしてまいります。

## 展示会案内

光文堂「製本省力化機材展」開催  
9月26日(金)、27日(土)の2日間

印刷機材の総合商社(株)光文堂による第32回「製本省力化機材展」が9月26日、27日の両日、光文堂技術サービスセンターにおいて開催されます。この展示会は、製本、後加工作業における合理化・省力化を狙いとしたもので、最新の製本、後加工機材が展示される専門ショーとなっています。

愛知県製本工業組合、愛知県紙加工業協同組合、愛知県トムソン工業協同組合が後援するもので、両日も大勢の見学者で賑わいを見せます。

会場となる光文堂技術サービスセンター(名古屋市昭和区福江2-10-15)は、光文堂本店より東へ徒歩10分、円上バス停より西へ5分ほどの新堀川沿いにあります。

後工程でお困りでしたら是非見学にお出かけください。

## 豪雨・水害被害に お見舞申し上げます

8月28日～29日、愛知県下を襲いました豪雨・水害により、被害に遭われました皆様にお見舞申し上げます。

愛知県印刷工業組合

あいちの印刷

No.442

平成20年9月10日発行

発行人 高井 昭 弘  
編集 組織・共済委員会  
発行所 愛知県印刷工業組合  
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号  
TEL 052 962-5771  
FAX 052 951-0569

ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

E-mail アドレス [jimukyoku@ai-in-ko.or.jp](mailto:jimukyoku@ai-in-ko.or.jp)